

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書
HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program Report

記入日/Date		2019年10月28日
派遣プログラム Name of Program	<input checked="" type="checkbox"/> HUSA <input type="checkbox"/> USAC <input type="checkbox"/> UMAP	
留学先大学 Host University	北京師範大学 (国名/Country : 中国)	
所属学部・学科等名 School/Graduate School at Host	漢語文化学院	
在籍身分 Status at Host University	語学研修生 (ex. Exchange Student, Special Auditing Student)	
留学期間 Period of Program	2018年 8月 27日 ~ 2019年 6月 29日 (YYYY /MM/ DD) (YYYY /MM/ DD)	

1. 留学するまで / Preparation for the Program

留学への志望動機・ 派遣先大学を希望した理由 Purpose of Study / Reason of Host Choice	私は中国文学語学専攻に所属しており、中国文学を研究したいという思いがありました。その中で感じた、中国文学の原典を中国語で読みたいということや文学を読むためにはその国の文化や背景も知っておかなければならないということから中国に留学したいと思うようになり、HUSA プログラムへの応募を決めました。
留学準備を始めた時期 (応募する 何か月前ですか?) Commencement of Preparation for Application	応募要項などが発表されてすぐ準備を始め、余裕を持って応募しました。
事前準備について(どのような準備 をしたか、しておけばよかった か) Preparation Completed Prior to Study Abroad	親の説得が一番の難関でした。私はもともと留学に行きたいと伝えてはいましたが、卒業が一年延びるとなると金銭的な問題もあり簡単に許してはもらえませんでした。帰国後に教員免許を取得することと三年次に(書類不備や受け入れ許可が下りなかった等の理由で)留学に行けなかった場合は四年次には留学に行かせられないので諦めるという二つの条件をもって合意しました。

2. 渡航について / Visa and Flight Information

ビザについて Visa	ビザの種類 / Visa Type : X1 ビザ
	ビザ申請先 / Location of Visa Application : 西日本中旅行社 広島支店
	提出書類 / Required Documents : パスポート原本、証明写真1枚、査証申請用紙、入学許可証原本、外国人留学人員来華査証申請表 (JW201 または JW202)
	手続きに要した日数 / Duration of Visa Application Process : 西日本中旅行社に申請後、1~2週間ほどで自宅に届きました。店頭に取りに行くか郵送してもらうかは選ぶことができました。
その他必要な事前手続き Other Required Procedures	宿舎のオンライン予約、健康診断、予防接種など(大学から送られてきた書類に従って準備しました)
出国年月日/ Date of Departure	2018年 8月 27日 (YYYY /MM/ DD)
経路(往路) / Route (Outward)	広島空港発(大連経由)北京首都国際空港行
現地での出迎え Pick-up Service	<input type="checkbox"/> 有/Yes (大学関係者/Univ. Staff ・ その他/Others) <input checked="" type="checkbox"/> 無/No (大学関係者の出迎えは利用できたのですが、私は利用せず自分で行きました)
到着後オリエンテーションの有	<input checked="" type="checkbox"/> 有/Yes 有の場合 期間/Period : 到着して数日後に日本人学生会による大学

無・期間・内容 Orientation, Period, Contents	<input type="checkbox"/> 無/No	の説明などがありました。 (If Yes) 内容/ Indicate Content Covered during Orientation
帰国年月日 / Date of Return	2019年 6月 29日 (YYYY/MM/DD)	
経路(復路) / Route (Return)	北京首都師範空港発(大連経由) 広島空港行	

3. 留学費用について / Expenses

内訳 Total Amount	総額		約 900,000	円/yen
	内訳 Details	渡航費(往復) / Flight Ticket (Round Trip)		約 70,000
ビザ申請手数料 / Visa Application Charge			約 16,000	円/yen
予防接種費用 / Immunization Charge			約 3,000	円/yen
保険料 / Travel Insurance			約 113,000	円/yen
教材費(授業料以外の学費) / Learning Material (Extra Tuition Fee)			約 12,000	円/yen
宿舍費(住居費) / Accommodation Fee			約 340,000	円/yen
光熱費 / Utility Cost			0	円/yen
食費 / Meal Cost			約 25,000	円/yen
通信費(インターネット・携帯) / Internet, Phone			約 1,000	円/yen
交通費(宿舍-大学間) / Transportation (Accommodation ~ Univ, Campus)			0	円/yen
交際費 / Social Expenses				円/yen
その他 / Others (費)				円/yen

4. 授業・修学について / Courses and Study

授業の概要について(カリキュラム, プログラム, 履修した科目, 時間数, 履修形態等) / Brief Description of Courses (Curriculum, Program, Registered Courses, Study Hours, Course Style)	<p>クラス分けテストによってレベル別のクラスに振り分けられます。クラスは100、101、102、201、202、301、302があります。100~301は留学生のみのクラスで、リスニング、ライティング、会話、新聞読解の4種類の授業があります。各レベル 1~5 クラスほどに分けられ、ものすごく多い人数で授業を受けるということはあまりないようです。クラスごとに時間割が決められていて、一日の授業は大体2コマ程度です。1コマの授業時間は90分で、45分授業、10分休憩、45分授業という形です。コマとコマの間には20分の休憩時間があります。教科書はクラス決定後に学内で購入します。302には決まったクラスというものはなく、本科の授業から興味のあるものを選び、本科生に混ざって授業を受けます。</p>
単位互換希望の有無 / Credit Transfer from Host to Home University	<p><input type="checkbox"/>有/Yes <input checked="" type="checkbox"/>無/No</p> <p>広島大学で語学の単位を取り切っていて、互換できる単位がなかったため互換できませんでした。</p>
授業・勉強についてのアドバイス(留学前の履修, 留学中, 単位取得等) / Advice for Class and Study (Before and During Study Abroad)	<p>留学前には、できるだけ中国語のレベルを高めておくべきというのはもちろんなのですが、特に語彙力等よりも発音を鍛えてから行くことをおすすめします。私は中国語の発音が苦手なまま留学に行き、なかなか矯正できずに苦労しました。語彙力は現地で生活し授業を受けていれば伸びますが、発音は日本でネイティブの中国人の先生と発音の仕方を理解している日本人の先生に習って完璧にしてから行くべきだったと感じました。</p>

日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦 (ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など)/ Difficulties and Challenges Faced in Classes Different from Japan (Teaching Style, Relationship with Professors/Lecturers)	<p>授業の中で「あなたの国ではどう?」と意見を求められることが多くありましたが、クラスに日本人が一人だったときには私一人が日本人代表としてみられているということを強く感じました。私が質問に答えられなかったら「日本人はそれを知らない」と思われてしまうかもしれないというプレッシャーがありました。日本について知っておくということも立派な留学準備の一つだと思います。日本のことが好きな中国人学生と交流する機会日本人留学生と中国人学生が交流する日中交流会に参加した時も、日本について詳しく聞かれてびっくりしました。日本文化や政治、芸能についてまで、いろいろなことを知っておくと良いと思います。</p> <p>先生と生徒の距離は近く、授業の欠席の連絡は基本 WeChat 上でしていました。また、クラスの WeChat グループに先生も加入し、先生も宿題や行事についての連絡を WeChat でされていました。日本の私の研究室では先生とのやりとりは全てメールで行なっていたので、先生と学生の距離感の違いにびっくりしました。</p>
--	---

5. 生活等について / Lifestyle		
(1) 留学先の住居について / Accommodation		
住居の種類 Type of Accommodation	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 / University Dormitory <input type="checkbox"/> アパート / Apartment <input type="checkbox"/> その他 / Others ()	
住居の広さ Size of the Room	約/approximately m ²	同居人の有無 Roommate(s)? <input checked="" type="checkbox"/> 有 / Yes (1人/People) <input type="checkbox"/> 無 / No
住居に附属する設備 Facilities in Accommodation	<input checked="" type="checkbox"/> 電気/ Electricity <input type="checkbox"/> ガス/ Gas <input checked="" type="checkbox"/> 水道/ Water <input type="checkbox"/> 給湯/ Hot Water <input checked="" type="checkbox"/> シャワー/ Shower <input type="checkbox"/> 風呂/ Bathtub <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所/ Flushable Toilet <input checked="" type="checkbox"/> 暖房/ Heating <input checked="" type="checkbox"/> 冷房/ Cooling <input checked="" type="checkbox"/> 台所/ Kitchen (共同) <input type="checkbox"/> 食堂/ Dining Room (寮の 1 階にマクドナルドと売店はありました) <input checked="" type="checkbox"/> 固定電話/ Land-Line Phone <input checked="" type="checkbox"/> インターネット/ Internet <input checked="" type="checkbox"/> その他/ Others (ベッド、電気ケトル、テレビ、ソファ、勉強机、電気スタンド、椅子、棚、クローゼット、ハンガー4本、冷蔵庫、金庫、)	
住居費 Accommodation Fee	1ヶ月当たり/ per month 2,550 円 (現地通貨/ local currency)	約 approximately 38,250 円/yen
留学先での住居全般に関するアドバイス Accommodation Advice	<p>留学生用の寮はいくつかありますが、HUSA の学生が住むのは基本的に新松寮か第三寮です。住居費は寮と部屋のタイプによって異なります。台所と洗濯機などの寮も共同です。寮費は現金での支払いしか受け付けていませんが、入居日にはデPOSIT だけ払えば残りの支払いは後日 (2 週間以内程度) で構いませんでした。日本から持っていく現地通貨は (余裕を持っておくのに越したことはないですが) ある程度でいいと思います。</p>	
(2) 医療について / Medical Care		
保険の加入先 Insurance	<input checked="" type="checkbox"/> 本学指定の保険 / Hiroshima University <input type="checkbox"/> 留学先大学指定の保険 / Host University <input type="checkbox"/> その他 / Others ()	
保険の補償内容 Insurance Coverage	補償額 / Coverage 死亡 / Death 円 / yen, 入院 1 日 / per day of Hospitalization 円 / yen その他 / Others ()	
留学前後での予防接種の必要の有無 Immunization Requirement	<input type="checkbox"/> 有 / Yes (種類 / Acquired Immunizations : , 医療機関名 / Location of Immunization :) <input checked="" type="checkbox"/> 無 / No 私は狂犬病の予防接種を受けましたが、予防接種は特に強制ではありません。広島大学の海外渡航リスク説明会の時にももらった資料を元に受けるかどうかを考えてみるといいと思います。	

<p>留学先国の医療事情（日本と比較して） Difference in Medical Service (Compared to Japan)</p>	<p>私は留学中に膝の靭帯を切り、中国で入院・手術をしました。膝に大きな傷が二つと小さな傷が三つ、今でも残っています。日本に帰ってから「今どきそんな大きな傷見たことない」と言われたのでもしかしたら中国の医療は日本より遅れているのかもしれませんが。入院・手術費用は（本当かどうかはわかりませんが）300万円以上だったそうです。海外保険に入っていたのでそれらの費用の自己負担はありませんでした。</p>
<p>留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと Healthcare and Hygiene</p>	<p>（当たり前ですが）怪我はしないほうがいいです。私は留学期間10ヶ月のうち4ヶ月を松葉杖で過ごしました。松葉杖を使って生活していたときにもハルビンに旅行に行ったりクラスメートとご飯を食べに行ったり映画を見に行ったり、楽しんで日々を過ごしていましたが、怪我のせいで諦めたこともありました。友達と行く約束をしていた万里の長城も行けなくなりました。あと、松葉杖を雪の降る時期に使う場合はアイスピック付きの杖の滑り止めを使用してください。</p> <p>手術が必要なほどの怪我をしてしまった場合は、日本で治療するか現地で治療するか決める必要があります。現地で治療する場合海外保険で治療費の自己負担が減りますが、母国語でない言語で医学用語での説明を理解するのは難しいのでよく考えてください。本当に大切な説明の時は保険会社の通訳の人が来てくれましたが、私にとって通院・入院時の精神的ストレスは少しありました。</p>
<p>(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと / Dangerous Situations and Locations Encountered, Possible Advice for Risk Management</p>	
<p>私は正直あまり危険な目には合わなかったと感じています。しかし、私の危機管理能力が低かったことも自覚しているので、もっと外国にいるということを自覚して生活する必要があると少し反省しています。パスポートなど大切なものはかばんの中に定位置を決め、もし無くしてもすぐ気づけるようにしておくといいと思います。</p> <p>知らない人が「今お金がなくて困ってるんだけど、あとで銀行でお金をおろしたらすぐ返すからちょっとだけ貸してくれない？」と声をかけてきた場合、貸しても100%音信不通になってお金は返ってこないなので気をつけてください。付き合い合って日の浅い友人にお金を貸して欲しいと頼まれた場合はよく考えてください。</p>	
<p>(4) 食生活についてのアドバイス / Food – Related Advice</p>	
<p>私は辛い食べ物が好きですが胃腸が弱いので、留学中ずっとお腹を壊していました。「中国に行く人の7割は下痢をし残り3割は便秘になる」と聞いたことがあります。多くの日本人は油や香辛料たっぷりの料理にはあまり耐性がないと思うので、少しずつ慣れていくなどの工夫が必要かもしれません。</p> <p>マーラータンとタピオカミルクティーは本当に太るのでほどほどにしておきましょう。私は中国で太ったのですが、中国人に太った理由を聞かれて「マーラータンを食べ過ぎた」と答えたらすぐ納得されました。「マーラータンにはたくさんの油が使われているからね」と言われました。</p>	
<p>(5) 気候・服装についてのアドバイス / Advice on Local Climate and Clothing</p>	
<p>新松寮は暖気、第三寮はエアコンで室内の温度が快適に保たれています。北京は乾燥していて雨があまり降りませんでした。10ヶ月のうちに10日も降らなかったのでは？と思うほどです。特に冬場は本当に肌が乾燥して毎日何回も保湿クリームを塗り直していました。肌が敏感な人は、自分に合うものを日本から持って行った方がいいかもしれません。私はリップクリームだけは自分に合うものを日本から持って行きました。どんなクリームでも大丈夫な人は中国で買えるので持ってこなくても問題ないです。</p> <p>定期的に使い続けられないといけない薬がある人は、渡航前に少しずつ多めに薬をもらって、たくさんの薬を持って行く必要があると思います。中国で日本で使っているものと同じ薬が手に入るとも限らないし普段使っているものの方が安心して使えると思うので、早めにかかりつけの病院に相談することをお勧めします。</p>	
<p>(6) 学内外の施設・設備環境について（インターネット環境含む） / Available Resources (Library, Cafeteria, Campus Wi-Fi, etc.)</p>	
<p>学内にはWi-Fiがあり、月60円の支払いで無制限にネットを使用することができます。学内Wi-Fiに繋いでいる時のみ閲覧できる動画サイトもあります。寮の部屋には有線LANのコードもありました。大学内にある店で携帯電話本体やSIMカードを買うことができます。SIMフリーの携帯を日本から持ってきてSIMカードを入れ替えて使っている人もいました。私は日本で使っていた携帯が渡航直前に壊れてしまったので解約して、中国で新しい携帯を買いました。私が買ったのはvivoのスマホで大体1000元弱でした。iPhoneは高いのでiPhoneを使いたい人は日本から持っていくのがいいと思います。</p>	

<p>大学内には6つの食堂があり、様々な料理が食べられます。大学内にスーパー、果物屋、文房具屋、パン屋などたくさんのお店があります。また、淘宝（通販）で買ったものは大学内の宅配ボックスに届きます。大学から出なくても生活ができてしまいます。淘宝の品前は本当にすごくて、剣道の竹刀や面紐も買えました！</p>	
<p>(7) 現地学生や地域との交流について（どのような、機会・きっかけがありましたか？） / Communication with Local Students and People (Available Opportunities?)</p>	
<p>私は大学の剣道サークルに所属し、毎週練習に参加していました。私以外のサークルメンバーは全員中国人で、中国語を話さなければいけない環境に身を置くことができました。また、学外の道場と北京日本倶楽部剣道同好会の練習にも参加させていただき、多くの中国人と知り合いました。本場である日本で剣道を学んできた私に熱心に質問してくる中国人学生と話すうちに、もっときちんと説明できるようになりたいと強く思い、中国語の学習にもより一層熱が入りました。怪我をして現地の病院に通院・入院していたときにも会話は基本中国語だったので、自分一人でどうにかするという強い気持ちで鍛えられました（本当に大切な会話や説明の時には保険会社の通訳の人が来てくれました）。</p>	
<p>(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと / Care and Attention regarding Customs and Manners</p>	
<p>「『異文化理解は異文化を理解すること』ではなく『異文化が異なる文化である』ということを理解するところに本質がある」と言われていますが、本当にその通りだと感じました。</p>	
<p>(9) 日本から持っていくべきもの、持っていきべきでないもの / What Should You Bring? What Should You NOT Bring?</p>	
<p>基本的にはなんでも中国で買えるのであまり深刻に考えなくてもいいと思います。パソコンは授業で発表する時に使うパワーポイントを作るために必須です。紙の辞書は必要ないと思いますが電子辞書があると便利かもしれません（なくても携帯のアプリで十分です）。現地で使う教科書は中国語（一部英語）なので、日本語で書かれた文法書を一冊持っていくと確認がしやすく良いと思います。</p> <p>お土産としては、地元のものか広島のものか説明しやすくいいと思います。私は日本のお菓子を持って行ってクラスメートや仲良くなった人に渡していました。ポッキーやプリッツなど中国でも日本のお菓子は売っていますが、じゃがりこは中国に売っていないのでお勧めです。クラスで食べたものの中では、じゃがりこときび団子がクラスメートにすごく人気でした。日本酒はクラスメートには不人気だったので日本人の集まりで飲みました。</p>	
<p>(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス / Other Useful Information and Advice about Life Abroad</p>	
<p>北京師範大学には日本人学生会があり、日本人留学生のサポートを行なってくださっています。新歓や追いコンを開いてくださったり、いろいろな登録期間などをお知らせしてくださったり、中国人学生との交流会を開いてくださったり…。本当にお世話になりました。語学について、生活についてなど、どんなことでも親身に話を聞いて助けてくださると思います。</p>	

<h2>6. 帰国後の進路について / Your Career After Study Abroad</h2>	
<p>卒業予定年月 Expected Graduation Month and Year</p>	<p>2021 年 / year 3 月 / month (当初の卒業予定年月 / Expected Month and Year before Studying Abroad 2020 年 / year 3 月 / month)</p>
<p>卒業が遅れる見込みの場合、その理由 Reason for Extension of Graduation Month and Year?</p>	<p><input type="checkbox"/> 4年次に留学したため / Participation in HUSA during 4th Year <input checked="" type="checkbox"/> 単位不足のため / Amount of Credits <input checked="" type="checkbox"/> 新卒で卒業するため / In order to graduate as a "new" graduate <input type="checkbox"/> その他 / Others (具体的に / Specific reason:)</p>
<p>現在の状況および今後の予定・進路等 Current Situation, Plan and Career</p>	<p>帰国後は卒業と教員免許取得を目指して大学の授業に参加します。教員採用試験を受けるか一般就職を目指すかはまだ考え中です。</p>
<p>就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫 Pre-arrangement by yourself for your future job hunting,</p>	<p>留学に行きたい学年がはっきりしていて教員免許も取得しようとしているのであれば、教育実習との兼ね合いは重要です。私の学部で教員免許を取得しようとする学生は、中高の免許の場合は三年後期に、高校のみの免許の場合は四年前期に教育実習に行きます。私は高校のみの免許を取得しようとしているので三年後期から留学に行くことができましたが、中高の免許を取得したい場合は三年後期からの留学は難しいと思います。</p>

acquisition of credits of required courses and practicum, etc.	<p>指導教員や教育学部の支援室に聞くなどして、詳しく調べながら準備を進めることをお勧めします。</p> <p>教育実習を受けるための授業のための事前説明会の時期に留学中であれば、所属学部の先生に代理参加してもらい、書類を代わりに書いていただく必要があります。日本とのメールはきちんと確認するようにしましょう。中国で使う携帯電話でも広大メールを受け取れるようにしておくべきです。</p> <p>留学中に留学先で、日本で自分が所属する専攻の授業で単位を取らないと基本的に単位互換はできません。語学留学の場合は単位互換はできないと考えておくのが賢明です（日本で所属学部の中国語の単位を取得し切っていない場合は互換できる可能性があります）。</p>
--	---

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等 / Useful Books and Website for Study and Life Abroad

書籍、サイト名 Name of Book or Website	詳細（出版社、URL 等） Details (Publisher, URL etc.)	コメント Comments

8. 後輩へのメッセージ / Message for Outgoing Students who Desire to Study Abroad

私は中国に留学して本当に良かったと思っています。中国の大学で勉強できたことはもちろんですが、中国人だけでなく多くの外国人と知り合い交流できたこと、外国人の日本への印象や外国での日本のイメージを知って日本を少し俯瞰的に見られたことなど、留学に行かなければできなかったであろう経験をたくさんさせてもらいました。キャッシュレスの支払いやレンタル自転車など、短期の旅行では使えないものが中国にはありますが、長期留学ではそれらの中で使えるものも増えます。中国の便利さを知りたい人には特に留学をお勧めします。

最後に大学の選び方について少しだけ書かせていただきます。日本人が少ない都市に行けば必然的に中国語を使う機会が増えて語学力が伸びやすいでしょう。ただ、周りに頼りにくい環境にはなるので積極的な行動ときちんと自分のすべきことを把握する能力が必要だと思います。日本人の多い都市に行けば、困ったときに助けてくれる人は多いと思いますが、日本人同士で固まってしまい、中国語が伸びない可能性もあります。ここからは私の個人的な意見ですが、語学力アップだけを狙っての留学でないのであれば大きな都市に行くのが良いと思います。特に帰国後も中国に関わりたい人には、留学中により多くの人とのつながりを作りやすい大都市に留学するのが良いと思います。

9. 自由記述（日本語・1,200字程度） / Feedback (English about 600 words)



留学を終えて、私は以前より自分の意見を言うことができるようになったと感じています。私の留学中に中国に旅行に来た母に「あなたは中国語を喋る時性格が変わるね」と言われました。確かに、日本語を喋る時よりも強い口調で喋っていることに気がつきました。中国語の発音の特徴から強い口調に聞こえるということも要因の一つとしてはあると思いますが、それ以上にはっきりものを言う中国人に憧れたこと、授業で日本人代表として意見を言わないと行けない状況に置かれることが多かったことがあると思います。また、以前より自分に自信が持てたと感じています。

←クラスメートと火鍋を食べに行った時の写真です。イギリス、韓国、ブルガリア…、様々な国からの留学生がいます。

冬休みの中国国内の旅行中、成都のユースホステルで出会った中国人5人と一緒に火鍋を食べに行きました。その時は春節の時期でした。中国の春節は、家族で過ごすという風習があります。一人での旅行を始めてから2週間以上経過しており、さらに、多くの人が家族と過ごしている春節の時期で、この頃少し寂しくなっていたのですが、こうやって一緒にご飯を食べにいたり遊びにいたりできる人と出会えたことは幸せでした。本当に人に恵まれた旅行でした。

成都で食べた火鍋の写真です。辛くて美味しかったです！→



四月には北京で剣道の試合に出させていただきました。自分の試合の後、大学の剣道サークルの友達から「試合の動画撮ってるよ！」と私の試合の動画が送られてきたり、対戦した選手から「私の試合場には友達がいなくて動画を撮ってもらうことができなかつたんだけど、もしあなたが動画を撮ってもらったなら私に送ってもらえないかな？」と声をかけられたり、何に対しても真面目な中国人と交流できたのは刺激になりました。中国で剣道ができたことは本当に私にとって価値がありました。



←試合の集合写真です。中国で剣道が多くの人に受け入れられていることを本当に嬉しく思います。

私は元々の専攻が中国語・中国文学だったということもあり、漠然と中国語を勉強しているところがありました。きっと他の学部の人よりも、中国語「が」できることを目指していて、中国語「で」何をするかということあまり考えてきていなかったと思います。今回の留学で、「中国語を使って何かをする」ということを経験してみて、自分は中国語で何ができるのかということを考え始めました。そして、将来のために中国語を勉強したいと感じるようになりました。今では、中国で働きたい、中国に住みたいと思っています。

留学を終えて、私は今までにも増して中国が好きになりました。また、中国では本当にたくさんの人にお世話になりました。剣道の先生方、仲間、大学の先生方、クラスメート、病院の先生方、旅行中に仲良くなった中国各地の友達、日本人学生会の先輩方、一緒に遊んでくれた友達…。本当に感謝しています。今回の留学を通して、周りの存在の大きさを実感しました。いつかみんなに恩返しできるように、感謝の気持ちを忘れずにこれからも中国語の勉強を続けていきます。